

チャイコフスキイ：ピアノ協奏曲 第2番 ト長調 op.44

P.I.Tchaikovsky : Concerto for piano No.2 op.44

リムスキイ=コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」op.35

N.A.Rimsky-Korsakov : Symphonic Suite "Scheherazade" op.35



世界三大オーケストラのひとつ、  
5年振りに名古屋へ！

# ロイヤル・コンセルトヘボウ 管弦楽団

2015 11/9(月) PM6:45

愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥32,000 A ¥28,000 B ¥24,000

C ¥18,000 D ¥ 9,000 学生¥5,000 (税込)

ご希望の方は中京テレビ事業ホームページよりエンタリーしてください。  
公演1か月前に抽選の上、お席をお取りできるか否か登録メールアドレスへご連絡いたします。エンタリー開始は一般発売日以降となります。

webからお申し込み  
できるようになりました!

■プログラム、出演者等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

■未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

主催：中京テレビ放送 企画・運営：中京テレビ事業

後援：愛知県・名古屋市・愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会

お問い合わせ  
お申込み 中京テレビ事業 ☎052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F(月～金 AM10:00～PM5:00／土・日・祝日休業)

<http://cte.jp> 中京テレビ事業 検索  
座席表からお席をお選びいただけます！

5/30(土) 一般発売  
AM10:00~

中京テレビ事業チケットセンター	052-320-9933
チケットぴあ(Pコード 259-251)	0570-02-9999
ローリングチケット(Lコード 46997)	0570-084-004
愛知芸術文化センターPG	052-972-0430
栄ブレヂケ92	052-953-0777
E+(イープラス)	eplus.jp
名鉄ホールチケットセンター	052-561-7755
中日サービスセンター	052-263-7282
	他

# 世界三大オーケストラの雄

ベルリン・フィル、ウィーン・フィルと比肩しうる世界三大オーケストラのひとつ、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団。その柔らかく芳醇な響きにおいてほかに並ぶものはないこのオーケストラ、待望の名古屋公演！ヤンソンスやアバドが絶大な信頼を置く首席指揮者グスターボ・ヒメノ、若さあふれる大胆さと自由奔放さ、完璧なコントロールと超絶技巧を誇る話題の女性ピアニスト、ユージャ・ワンを迎えて、コンセルトヘボウの新しい魅力をお楽しみいただきます。至高のオーケストラ体験をあなたに。

## 〈コンセルトヘボウ管弦楽団〉

ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団(RCO)は、世界屈指のオーケストラである。その類い稀な響きを、批評家たちは昔から褒めたえてきた。RCOの弦楽器セクションは「ピロードのよう」、金管楽器セクションは「黄金の響き」、木管楽器の音質は「際だって個性的」と賞され、打楽器セクションには国際的な定評がある。この名声には本拠地コンセルトヘボウの類例のない音響も大いに寄与するところだが、そのメインホールでRCOのように響くオーケストラは、他にはない。1888年以来、オーケストラに多大な影響を与えてきた6人の首席指揮者の存在もまた欠くことができない。マリス・ヤンソンスは、2004年9月に6代目首席指揮者として迎えられた。歴代の首席指揮者は、ウィレム・ケス(1888年～1895年)、ウィレム・メンゲルベルク(1895年～1945年)、エドワアルト・ファン・ベイヌム(1945年～1959年)、ベルナルト・ハイティンク(1963年～1988年)、リッカルド・シャイー(1988年

～2004年)である。2016年には、ダニエレ・ガッティが首席指揮者の地位に就くことが決まっている。

これまでに、グスタフ・マーラー、リヒャルト・シュトラウス、イーゴル・ストラヴィン斯基といった著名な作曲家たちがRCOを指揮してきた。現在も、ジョン・アダムス、ジョージ・ベンジャミン、タン・ドゥン、それにオーケストラ専属の作曲家であるミシェル・ファン・デル・アー、デトレフ・グラナート、リシャルト・ラインフォスの3人と、緊密な協働関係を保っている。オーケストラを構成するのは20以上の国から選りすぐられた120人の楽員たち。大編成であるにも関わらず繊細なことは室内オーケストラ並みで、楽員たちは互いを聴きあい、協力して音楽を作り上げている。一人一人の力量の高さ、楽員相互の深い信頼感あってのことである。

アムステルダムのコンセルトヘボウにおける年間80回ほどのコンサートのほか、毎年世界各地40か所ほどの主要なホールで演奏している。ラジオおよびテ

レビ放送のおかげもあり、演奏の機会は増える一方である。これまでに、1100タイトル以上のLP、CD、DVDをリリース、その多くが国際的に高い評価を得ている。2004年には、独自のレーベル「RCO Live」を開始。2013年には125周年記念のワールドツアーを行い、1年のうちに6つの大陸を訪れた。さらに、iPad・iPhoneのための画期的なアプリ「RCO Editions」も提供が開始された。

### ～歴代の首席指揮者～

1888-1895	ウィレム・ケス
1895-1945	ウィレム・メンゲルベルク
1945-1959	エドワアルト・ファン・ベイヌム
1963-1988	ベルナルト・ハイティンク
1988-2004	リッカルド・シャイー
2004-2015	マリス・ヤンソンス

## グスターボ・ヒメノ(指揮)

Gustavo Gimeno, Conductor

2014年春、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団へのデビュー。アムステルダムの歴史あるコンセルトヘボウホールにかつてない才能が現れた。スペイン・バルシア生まれ。2001年にロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団の首席打楽器奏者に就任した後、音楽家として更なる研鑽を深めるため、アムステルダム音楽院でオーケストラの指揮を学びはじめ、マリス・ヤンソンスにその才能を見出された。アムステルダム・シンフォニック・オーケストラ・コン・ブリオの指揮者を2009年から2012年まで務めた後、2012年からアムステルダム管弦楽団のアーティスティック・リーダーおよび首席指揮者に就任。2015年シーズンからはルクセンブルク・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者に就任予定。

近年では、スペインのガリシア交響楽団、イタリアのモーツアルト管弦楽団を指揮した。2012-13年および2013-14年のシーズンには、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団でマリス・ヤンソンスの副指揮を務めている(2012年クリスマス・コンサートなど)。また、2013年にはクラウディオ・アバドに招かれて多くの公演で副指揮を務め、最晩年のステージを支えた。また、ミュンヘンフィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会で、センセーショナルなデビューを飾り大きな注目を集めた。2014年シーズンには、ベルリン・ドイツ交響楽団、トーンハレ管、バーミンガム市響などに登場。同時に、巨匠ベルナルト・ハイティンクにも認められ多くの公演のアシstantを務めている。これまでに、テオ・ルヴェンディ、ヤコブ・テル・フェルトハウス、ピエール・ブーレーズ、マグヌス・リンドヘリイ、エトヴェシュ・ペテル、ジョージ・ベンジャミンなど現代の著名な作曲家とも近く仕事をしている。

現在、ヨーロッパで最も未来を嘱望され、若き巨匠とうたわれている。

## ユージャ・ワン(ピアノ)

Yuja Wang, Piano

1987年北京生まれ。2002年にはアスペン音楽祭の協奏曲コンペティションで優勝し、その後フィラデルフィアのカーティス音楽院でG.グラフマンに師事。今や完璧なコントロールを誇る超絶技巧、若さ溢れる大胆な想像力、自由奔放さと成熟したアーティスティックな精密さを兼ね備えた若手ナンバーワン・ピアニストとして絶大な評価と人気を誇る。“開いた口が塞がらない”とワシントン・ポスト紙は評した。バレンボイム、メータ、ドウダメル、デュトワ、ゲルギエフ、マゼール、バッバーノ、テミルカーノフらの指揮のもと、シカゴ響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・シュターツカペレ、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、サンタ・チエチーリア管などの超一流オーケストラと共に演奏している。アバド指揮ルツェルン祝祭管と北京で大成功を収めたことは記憶に新しい。2011年にはパリでベルリン・フィル首席奏者との室内楽公演を行い、またカーネギーホールではリサイタル・デビューを果たした。レコードはドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、2009年のデビュー盤「ソナタ&エチュード」は“鮮やかなテクニックと生來の詩的素質との融合”とグラモフォン誌で絶賛されている。その後の録音もクラシックFMグラモフォン・アワード、エコー賞などの新人賞を獲得、グラミー賞にもノミネートされた。

